



NEWS

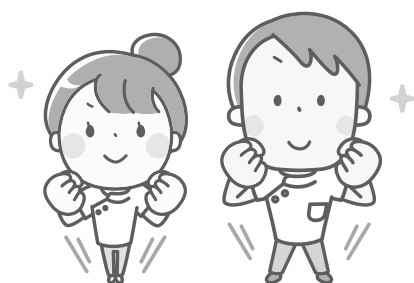
号外
2019
9月号

THE FUKUSHIMA PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS

一般社団法人 福島県理学療法士会

第37回東北理学療法学会開催迫る

2019年9月14日～15日に、福島市にある、「とうほう・みんなの文化センター」(福島県文化センター)・福島県福島市春日町5-54」で、第37回東北理学療法学会大会(大会長:舟見敬成・一財)総合南東北病院)が開催されます。毎年、東北6県で開催されている同大会が、今年は福島県で開催されます。6年ぶりに当県で開催される大会です。事前登録がお済みでない方も参加可能です。是非、会場に足を運んでみてください。



大会名	第37回東北理学療法学会大会 セミナー番号: 20461
会期	2019年9月 14日(土)・15日(日)
会場	とうほう・みんなの文化センター (福島県文化センター) ・ 福島県福島市春日町5-54 ・ TEL:024-534-9191 ・ HP: www.culture.fcp.or.jp

第37回 東北理学療法学会 概要

第37回 東北理学療法学会 講師紹介
本学会では、各分野から著名な講師陣をお招きし、各セミナーを行います。モーニングセミナーから始まり、連日バラエティに富んだ内容となっております。日々の臨床現場で疑問に感じていることや、質問してみたいことなどを持ち寄り、活気ある皆様の参加をお待ちしております。

【講師一覧】※50音順

- 「神経系理学療法士としての次の一步」
一般社団法人広南会 広南病院
リハビリテーション科 総括主任
阿部 浩明 氏
- 「かんたん導入! 診療参加型実習のすすめ方」
看護リハビリ新潟保健医療専門学校 学校長
有馬 慶美 氏
- 「排洩リハビリテーションにおける次の一步」
名古屋大学大学院 医学系研究科 リハビリテーション医療専攻
理学療法学 講座 助教
井上 倫恵 氏
- 「運動器工コが示す! 運動器理学療法の新たな一步」
森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科
准教授
工藤 慎太郎 氏
- 「内部障害リハビリテーションの次なる一步」
多様性を高めることが専門性を高める」
公益財団法人 日本心臓血管研究振興会附属 榊原記念病院
リハビリテーション科 科長
齊藤 正和 氏
- 「今後要求される物理療法の役割」
理学療法のスバイスとして」
畿央大学健康科学部 理学療法学科長
畿央大学大学院健康科学研究科教授
庄本 康治 氏
- 「理学療法とリハビリテーション」
生活期のゴール設定で目指す次の一步」
株式会社Gene 代表取締役
張本 浩平 氏
- 「運動の本質を探究する」
神経科学とバイオメカニクスから紐解く運動自己組織化理論」
株式会社バイナーアプローチセンター
代表取締役
舟波 真一 氏

ホームページにタイムリーな学会・研修会のご案内が掲載してあります。ぜひご覧ください。

<http://www.fukushima-pt.com/top-page.htm>

新たな試み オーブンケーススタディ

本学会から新たな取り組みとして始まった「オーブンケーススタディ」
オーディエンスとともに意見交換ができる、まったく新しいスタイルのコーナ
ーです。
会場の参加者の皆さんも、このコーナーを創る担い手の1人です。
積極的参加をよろしくお願いたします。

市民公開講座のご案内

この度の市民公開講座は、「腰痛の対処法について」として、公立大学法人福島県立医科大学医療人材育成・支援センター長・主任教授・臨床医学教育研修部門長の 大谷晃司先生にお話し頂き

参加費のご案内

事前参加申し込みがなくても参加できます。
市民公開講座のみの参加も可能です。
お誘い合わせの上、積極的にご参加下さい。

PT 37 @FUKUSHIMA
第37回 東北理学療法学会大会

【参加費一覧】

日本理学療法士協会 会員	事前申込・有	4,000円
	事前申込・有/デイス	3,000円
	※14日15日と55%のみ参加	
	事前申込・無/当日参加	5,000円
	～デイスも学会参加ポイントになります～	
日本理学療法士協会 非会員		10,000円

※学生の参加は無料ですが、「学生証」の提示が必要です。

市民公開講座のみに
参加される方は「無料」です。

〔在宅・訪問理学療法における評価の視点〕 心不全高齢者の在宅支援に対する 理学療法のかかわり方 風岡 都 氏



医療法人社団慈泉会 介護老人保健施設
「ひもろぎの園」 施設長

【学歴】 専門学校 社会高等技術学院 理学療法学科 卒業
【職歴】 2001年 医療法人社団慈泉会 介護老人保健施設ひもろぎの園リハビリテーション科勤務
2014年 医療法人社団慈泉会理事/医療法人社団実行会理事
2014年 医療法人社団慈泉会 介護老人保健施設「ひもろぎの園」施設長
【資格】 介護支援専門員
全国介護老人保健施設協会リスクマネージャー認定

公開型症例検討会「在宅・訪問理学療法における評価の視点」では、心不全の高齢者を取り上げ、より良い在宅生活を継続するための検討をしたいと思います。具体的な検討課題として、心不全高齢者を在宅にて担当する場合の情報収集のポイント、そして評価結果からどのように今後予測を立てるかを検討していきます。生活の質を保ちながら、在宅生活を続けていただくために理学療法士の役割について理解を深めたいと考えます。



医療法人社団 慈泉会
介護老人保健施設 デンライフひもと 齊藤 隆 氏

【学歴】 1993年 東京衛生専門学校 理学療法学科 卒
【資格】 認定理学療法士(地域理学療法)、認定訪問療法士、介護支援専門員



〔一財〕脳神経疾患研究財団
総合南東北病院リハビリテーション科 佐藤 聡見 氏

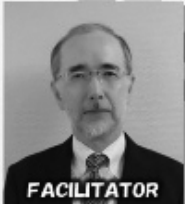
【学歴】 2016年 東北大学大学院医学系研究科 障害科学専攻
内臓障害学分野 博士課程修了
【資格】 認定理学療法士(介護)、心臓リハビリテーション指導士、介護支援専門員



福島県立医科大学
障害科学系理学療法専攻 横塚 美恵子 氏

【学歴】 1997年 東北大学大学院医学系研究科 障害科学専攻
博士課程修了
【資格】 専門理学療法士(生活環境支障/物理療法)

〔急性期理学療法における評価の視点〕 誤嚥性肺炎に対する理学療法士の関わり方 ～急性期症例から・連携・治療・予防を検討する～



福島県立医科大学
新医療系学部設置準備室 教授 伊橋 光二 氏

【学歴】 1976年 国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院理学療法学科 卒
1995年 医学博士(東北大学 医 第2734号)
【職歴】 1994年 東北大学医学部(運動機能再建学)助手・講師
(1996年 文科省海外研究開発助成調査：カナダ・アルバータ大学)
2000年 山形県立保健医療大学 教授(学長・理事等)
2017年 福島県立医科大学新医療系学部設置準備室 教授

公開型症例検討会「急性期理学療法における評価の視点」では高齢者の誤嚥性肺炎を取り上げ、急性期病院での治療のみならず在宅や施設における誤嚥性肺炎の予防についても検討したいと思います。具体的な課題検討として評価のポイント、他職種との連携、ゴール設定などを検討し、治療技術の面では排痰や換気改善の方策を検討します。さらに誤嚥性肺炎を繰り返さないための在宅や施設での評価や対策についても検討します。会場の皆様の討論への積極的な参加をお願いいたします。



マリオス小児内科クリニック
リハビリテーション科 科長 中田 隆文 氏

【学歴】 1987年 巻平リハビリテーション学院
理学療法学科 卒
【資格】 専門理学療法士(内臓障害/生活環境支障)



〔一財〕脳神経疾患研究財団
総合南東北病院リハビリテーション科 高橋 裕馬 氏

【学歴】 2015年 郡山健康科学専門学校 理学療法学科 卒
【資格】 2学会合同呼吸療法認定士



東北文化学園大学医療福祉学部
リハビリテーション学科理学療法専攻 高橋 一揮 氏

【学歴】 2007年 札幌医科大学大学院保健医療科学研究科
博士課程修了
【資格】 認定理学療法士(呼吸)、呼吸ケア指導士

会報誌編集委員会
総合南東北病院
リハビリテーション科
〒963-8563
郡山市八山田七丁目115
TEL024-934-5570
FAX024-934-1961
ご意見・お問い合わせは
e-mail: oriuchi@hotmail.co.jpまで
発行日/2019年9月5日
発行人/山口 和之
編集人/折内 英則
印刷/石井電算印刷(株)